



## 川・橋・溪谷

澄んだ清流や荒々しい激流、川の流れと美しく調和した橋、新緑時や紅葉時の溪谷など、四季折々の川の風景をご紹介します。

あおきばし  
**青木橋**

〔日光〕地図／P10-B 29



湯川の中ほどにかかる青木橋。魚が泳ぐ清流は、人々の目をひきつけます。

ゆかわ りゅうす はしおく  
**湯川（竜頭の橋奥より）**

〔日光〕地図／P10-B 30



湯滝を水源とし、戦場ヶ原を迂回して、最後は地獄川と名を変えて中禅寺湖に注ぎます。一部ラムサール条約登録地内です。

うんりゅうけいこく  
**雲竜溪谷**

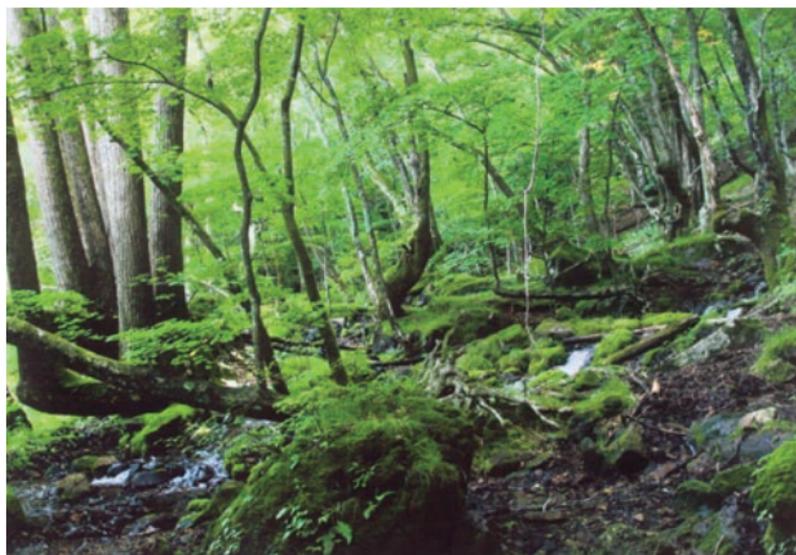
〔日光〕地図／P11-B 41



冬季は溪谷から流れる水が凍結し、氷壁を作ります。冬山の救助訓練場として知られます。

たもざわがわげんりゅう  
**田母沢川源流**

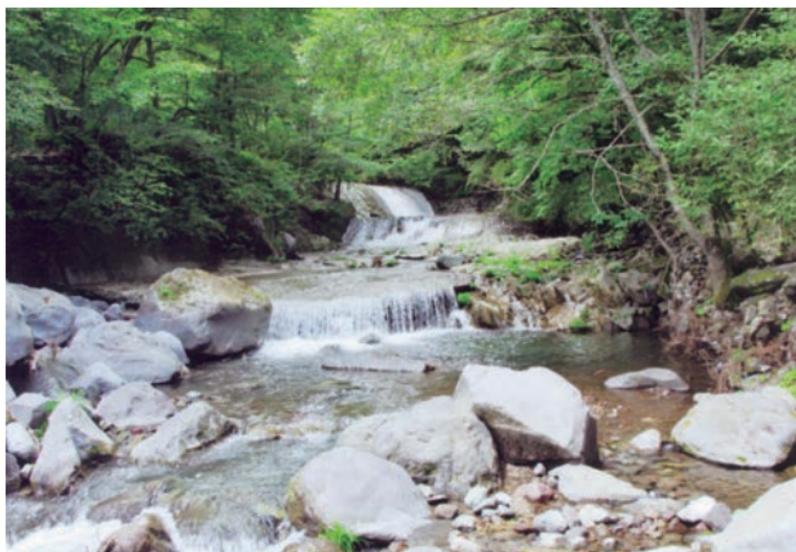
〔日光〕地図／P11-B 42



寂光の滝から川沿いに奥へ進むと、苔むした田母沢川源流域が広がっています。

あらさわがわ  
**荒沢川**

〔日光〕地図／P11-B 44



裏見の滝手前の駐車場から川に下りることができます。川音だけが響き、自然を存分に楽しめます。

しんきょう にっこうふたらさんじんじゃ  
**神橋 (日光二荒山神社)**

〔日光〕地図／P11-B 50



世界遺産「日光の社寺」の玄関口に位置する神橋。大谷川の清流と赤い橋とのコントラストがたいへん美しい。

# かんまん ぶち 憾満が淵

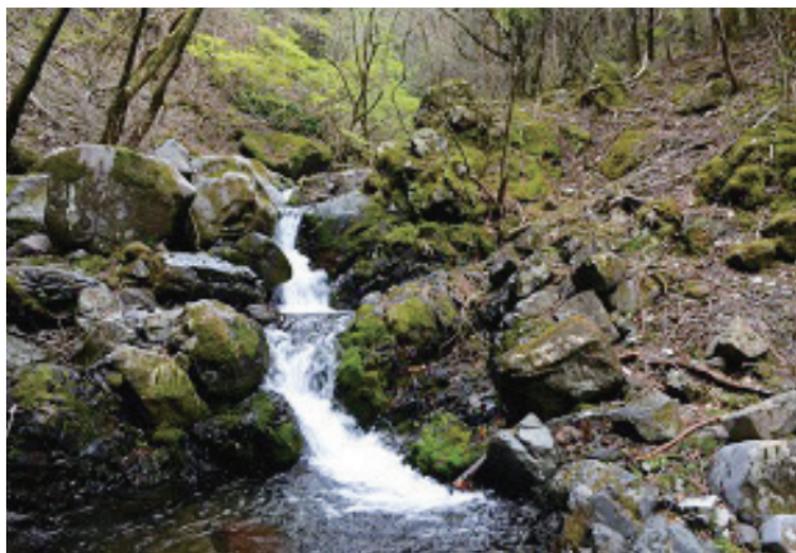
〔日光〕地図／P11-B 53



名勝「化け地蔵」の先、溶岩によってできた渓谷です。エメラルドグリーンの清流は目の覚めるような美しさです。

# ふな さわ 船が沢

〔日光〕地図／P11-B 56

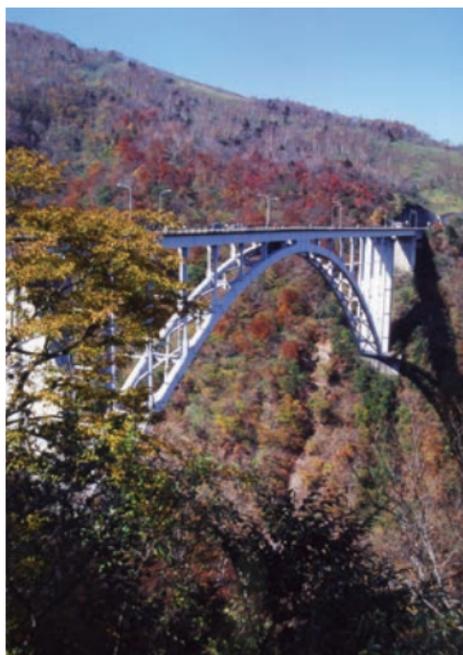


鳴虫山登山口を流れる小さな沢です。上流部では沢ガニが生息するなど、自然豊かな環境です。

ろっぽうさわぼし

## 六方沢橋

〔今市〕地図／P11-B 57



六方沢にかかる高さ約 130 m の大橋です。橋からは、栗山ダムや今市地域の風景、筑波山なども望めます。

## とがわけいこく 砥川溪谷

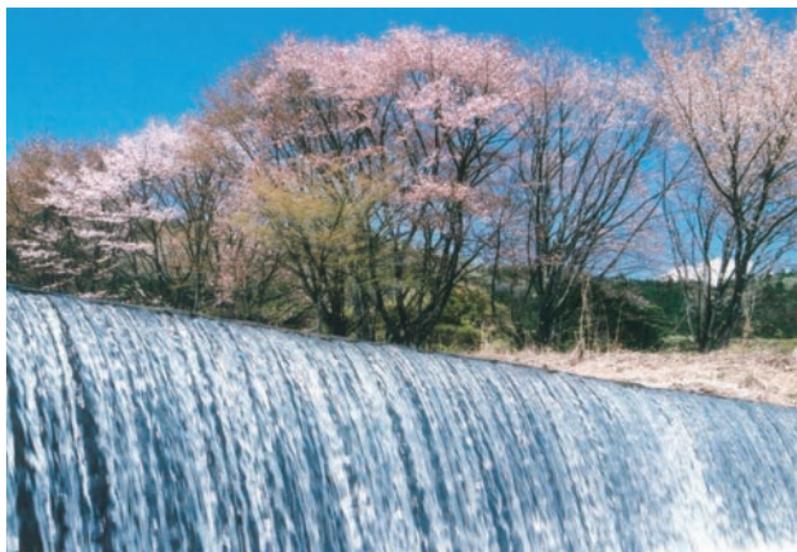
〔今市〕地図／P13-A 83



今市ダムを水源とする砥川溪谷沿いには、多くの自然が残されています。

こびゃくがわ  
**小百川**

〔今市〕地図／P13-A 84



春は桜の名所となる小百川公園。そこから眺める小百川です。

とこなめ  
**床滑**

〔今市〕地図／P11-B・P13-A 85



滑らかな一枚岩の川床が数 km に渡って続き、天然のウオーターライダーとして親しまれています。

かごいわ  
**籠岩**

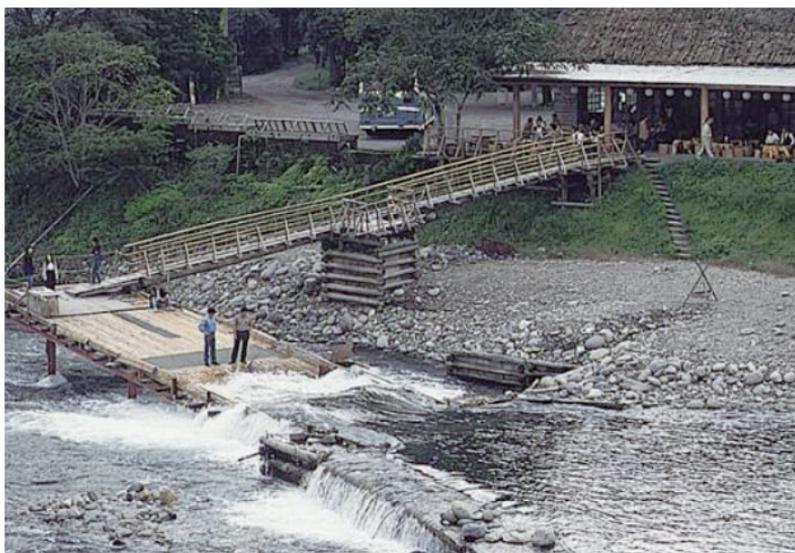
〔今市〕 地図／ P13-A **86**



巨岩が籠を並べたような様子からその名がついたといわれます。自然がつくりだした奇景です。

きぬがわ  
**鬼怒川のやな**

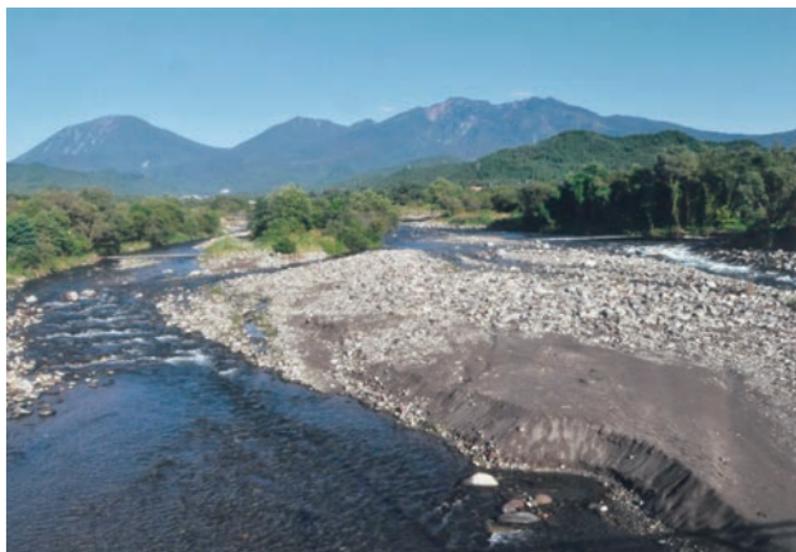
〔今市〕 地図／ P13-A **87**



鬼怒川で江戸時代から盛んに行われていた伝統的な漁法です。現在は、夏場に設けられます。

だいやがわ だいやぼし  
**大谷川 (大谷橋より)**

[今市] 地図 / P13-B 94



大谷川に架かる大谷橋からは、川の向こうにそびえる日光連山の雄大な姿を見ることができます。

きぬがわ かりゅう こばやしぼし  
**鬼怒川下流 (小林橋より)**

[今市] 地図 / P9 99



市内下流域では、鬼怒川はゆったりとした流れになります。日光連山を背景にした風景。

おじかがわ  
**男鹿川**

〔藤原〕地図／P12-A 63



市最北端の県境・横川地区を水源とし、会津西街道に沿って流れる名川。五十里湖を経て鬼怒川に合流します。

かわじこがねばし  
**川治黄金橋**

〔藤原〕地図／P12-B 71



付近の南平山なんぺいさんには、平家の落人が再興を期して財宝を埋めたという伝説が残っており、橋の名前の由来となっています。

きぬがわちゅうりゅう  
**鬼怒川中流** (むささび橋より)

〔藤原〕地図／P12-B 72



むささび橋からは、狭い溪谷を縫うように流れる鬼怒川を見ることができます。

りゅうおうきょう  
**龍王峡**

〔藤原〕地図／P12-B 73



巨石・奇岩が続く険しい溪谷は、文字どおり、龍が躍動するような迫力です。

きぬがわちゅうりゅう  
**鬼怒川中流** (きぬいわはし  
**鬼怒岩橋より**)

〔藤原〕 地図／P13-A 76



鬼怒岩橋は、大吊橋を加えた「鬼怒川六橋」のうち最も上流に架かる橋。巨岩の間を流れる鬼怒川は壮観です。

ばしかせんゆうほどう  
**くろがね橋河川遊歩道**

〔藤原〕 地図／P13-A 78



鬼怒川の流れを間近で堪能できます。眼前に広がる川と岩が織りなす風景は、日本庭園を思わせます。

きぬがわおんせん ぼし  
**鬼怒川温泉ふれあい橋**

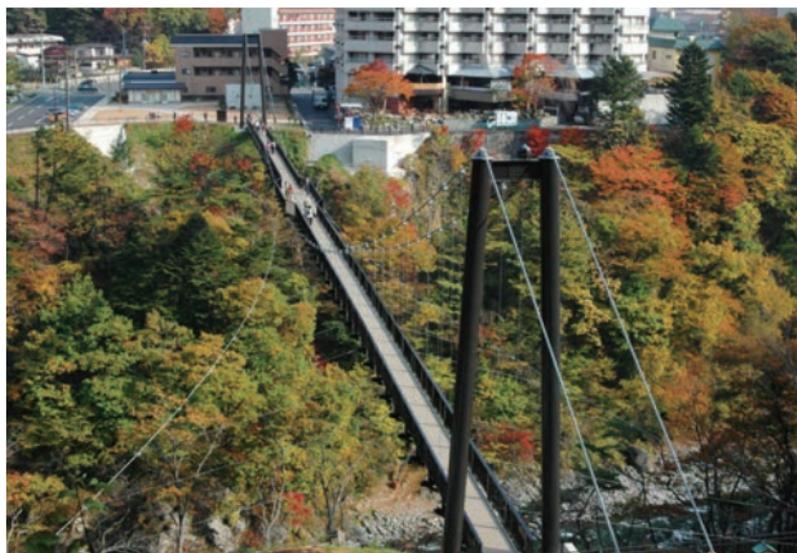
〔藤原〕地図／P13-A 79



大正ロマネスクをイメージした歩行者専用橋です。多くの来訪者が行き交う、鬼怒川温泉のシンボルです。

きぬたていわおおつりぼし  
**鬼怒楯岩大吊橋**

〔藤原〕地図／P13-A 80



眼下を流れる鬼怒川と、四季折々の表情を見せる山々の大パノラマに魅了されます。

# おおとろ橋<sup>ぼし</sup>

〔藤原〕 地図／P13-A 82



一度に30名までしか渡れない歩行者専用の吊橋。すでに戦前から吊橋が架けられていました。

# 湯西川<sup>ゆにしがわ</sup>

〔栗山〕 地図／P9 2



湯西川地区の中心部を流れて五十里湖<sup>いかりこ</sup>に注ぐ、「平家の里」の名川です。

きぬがわじょうりゅう かわまたおんせんきょう  
**鬼怒川上流 (川俣温泉峡)**

[栗山] 地図 / P10-A ⑨



県南下流域では川幅 600 mにも及ぶ鬼怒川も、上流では川幅わずか数mの清らかな溪流です。

せとあいきょう わた つりばし  
**瀬戸合峡 (渡らっしやい吊橋)**

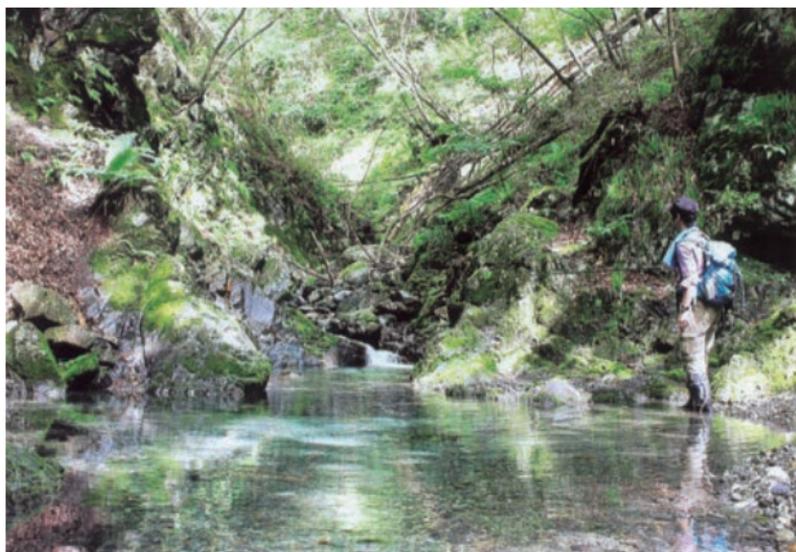
[栗山] 地図 / P11-A ⑪



川俣ダム下流域に架かる高さ 100 mの吊橋。川俣湖の青い水面と、山水画を思わせる断崖絶壁との競演が見事です。

おおたきさわ  
**大滝沢**

〔栗山〕 地図／P11-A・P12-B ①7



沢を訪れるのは主に釣り人。水と緑が一体となった、あるがままの自然美が感じられます。

もち せ がわしろいわふち  
**餅が瀬川白岩淵**

〔足尾〕 地図／P14 ⑩6



餅が瀬川を遡上すると、真っ白な岩に青々とした水をたたえる淵が現れます。

けいこくてつどうだい わたらせがわきょう  
**わたらせ渓谷鉄道第2渡良瀬川橋りょう**

〔足尾〕地図／P14 **109**



渡良瀬川に架かるこの橋は、足尾銅山の輸送を支えた産業の歴史も併せ持ちます。国の登録有形文化財です。

つうどうおおはし  
**通洞大橋**

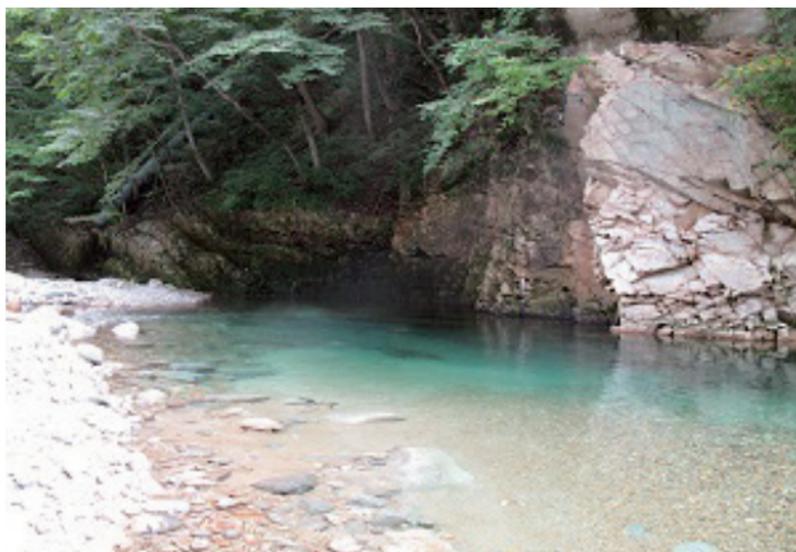
〔足尾〕地図／P14 **110**



足尾銅山の閉山後、銅山観光オープンにあわせて開通した、足尾町中心部に架かるシンボリックな赤い大橋です。

# み こうちがわしん び ふち 神子内川神秘の淵

〔足尾〕地図／P14 111



深いサファイアブルーの水は、見るものに神秘を感じさせます。

# ともえ しゅくりゆうじん ふち 巴の宿龍神が淵

〔足尾〕地図／P14 113



「深山巴の宿」は勝道上人が修行したと伝えられる宿跡。ここに龍神が宿るといわれる淵があります。